

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和5年度～令和9年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（きたかみがわちゅうりゅう） 北上川中流森林計画区 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 いわてなんぶ 岩手南部森林管理署 とねの 岩手南部森林管理署遠野支署
事業の概要・目的	<p>本事業は、岩手県の南西部に位置する^{はなまき}花巻市などの5市3町にまたがる約150千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区の国有林野は、^{きたかみ}北上高地、^{おうう}奥羽山脈ともに優れた自然環境を有する地域が多く、「^{はやちねさん}早池峰山周辺森林生態系保護地域」及び「^{くりこまやま}栗駒山・^{とちがもりやま}栃ヶ森山周辺森林生態系保護地域」を設定するとともに、「栗駒国定公園」、「^{はなまきおんせんきょう}花巻温泉郷県立自然公園」、「^{わがだけ}和賀岳自然環境保全地域」等に指定されている。これらの地域は、温泉、溪谷、豊かな森林景観など豊富な観光資源に恵まれていることから、スキー、登山等の森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>林業・木材産業については、従来より豊かな森林資源を利用した製紙等の木材加工業が発達しているほか、きのこや山菜を利用した食品加工業が地域の重要な産業となっている。</p> <p>また、本計画区の国有林野の93%が保安林に指定されており、水源涵養^{かん}や土砂流出防備等に重要な役割を果たしている。</p> <p>森林の現況は、人工林を中心とする育成林が約59千ha、天然生林が約74千haとなっており、人工林の主な樹種ではスギ（51%）、カラマツ（34%）、アカマツ（13%）が主体となっている。</p> <p>人工林の齢級構成については、11齢級をピークとした一山型であり、10 齢級以上が約7割と、利用期に達している林分が増加しており、主伐、間伐を見据えた路網整備や主伐後の確実な更新とその後の保育が必要となっている。</p> <p>このため、本事業は、森林の有する水源涵養機能、土砂流出防止機能、保健文化機能などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給、地球温暖化の防止及び地域の活性化にも寄与するため、地域特性や現地の状況、社会情勢及び事業評価の結果を踏まえ、植栽や間伐等の森林整備を積極的に実施するとともに、森林整備の効率的な実施に必要な路網を整備する。</p> <p>なお、事業実施に当たっては、伐採造林の一貫作業システムやコンテナ苗を活用した更新作業、下刈回数の低減、列状間伐の実施等により低コストで効率的な作業を推進するとともに、生物多様性の保全に配慮した森林施業や路網整備における柵工等木材利用の促進に取り組む。</p> <p>また、地元からの意見として、松くい虫等の森林病虫害の拡大防止対策につい</p>		

	<p>での要望があったことから、関係機関と被害状況の情報共有を図るなど連携した取組を行うとともに、適切な被害対策を講じる。また、路網については、災害発生時の緊急避難路としての利用や、国有林と近接する民有林の森林整備を推進する上で重要なアクセス手段となっているとの意見があったことから、既設林道については、今後も修繕等、適切な維持管理に努めるとともに、官民一体となった路網の開設にも努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>1,530 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>15,868 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>21.2 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.4 km</td> </tr> </table> ・ 総事業費 12,983,330千円（税抜き 11,803,028千円） 	森林整備	更新面積	1,530 ha		保育面積	15,868 ha	路網整備	開設延長	21.2 km		改良延長	1.4 km
森林整備	更新面積	1,530 ha											
	保育面積	15,868 ha											
路網整備	開設延長	21.2 km											
	改良延長	1.4 km											
費用便益分析	<table style="width: 100%;"> <tr> <td>総便益（B）</td> <td style="text-align: right;">37,109,356千円</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td style="text-align: right;">15,332,855千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B／C）</td> <td style="text-align: right;">2.42</td> </tr> </table>	総便益（B）	37,109,356千円	総費用（C）	15,332,855千円	分析結果（B／C）	2.42						
総便益（B）	37,109,356千円												
総費用（C）	15,332,855千円												
分析結果（B／C）	2.42												
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>効率的な森林整備と路網整備を行うことにより、公益的機能の発揮による生活環境の向上と木材生産等を通じた地域振興への寄与が期待されることから、事業実施の必要性が認められる。</p>												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養等の公益的機能の発揮や事業の実施を通じて生産されるスギ等の木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業に寄与することから、本事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備では、一貫作業システム、下刈回数の低減等による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとしており、路網整備では、開設・改良により森林整備箇所へのアクセス性や集材効率を向上させるなど、効率的な森林整備と路網整備を行うこととしており、費用便益分析の結果からも本事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 森林の現況や路網の整備状況を踏まえた事業内容であり、計画的な保育等の適切な森林整備や、これと連携した路網整備により、森林の有する公益的機能を十分発揮させるものとなっているほか、完了後の評価結果を踏まえた事業内容となっており、本事業の有効性が認められる。 <p>新規採択チェックリスト、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が計画されているものと認められる。</p>												

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：岩手県

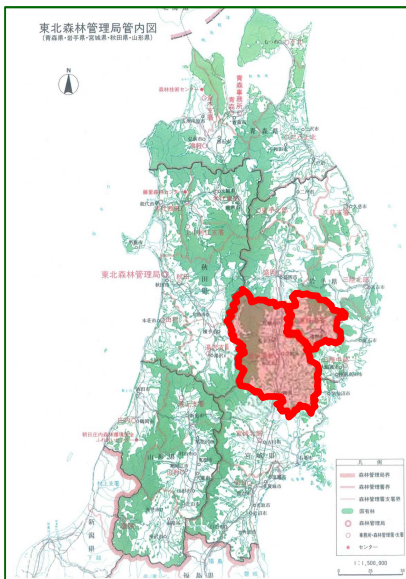
施行箇所：北上川中流森林計画区

(単位：千円)

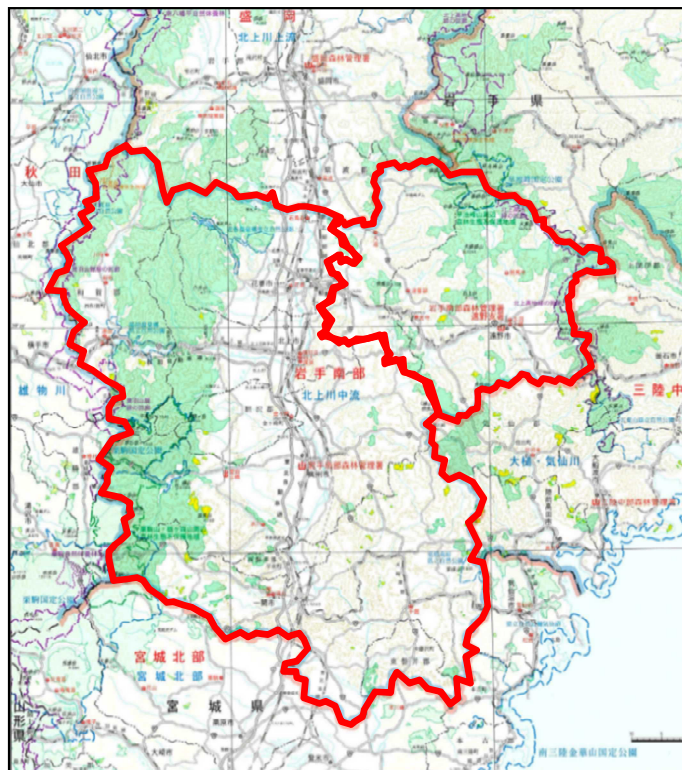
大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	8,503,257	
	流域貯水便益	2,568,295	
	水質浄化便益	9,595,968	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,157,652	
環境保全便益	炭素固定便益	2,460,009	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	7,381	
	木材利用増進便益	39,837	
	木材生産確保・増進便益	2,201,023	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	3,575,934	
総 便 益 (B)		37,109,356	
総 費 用 (C)		15,332,855	
費用便益比	$B \div C = \frac{37,109,356}{15,332,855} = 2.42$		

森林環境保全整備事業 北上川中流森林計画区 (岩手県)

北上川中流森林計画区位置図
(岩手南部森林管理署・
岩手南部森林管理署遠野支署)



位置図



植付



下刈



林道 (林業専用道) 開設



間伐



除伐

